

らんやま なが むろづこう
 羅漢山から眺める室津港

所在地：淡路市 室津



羅漢山（神戸淡路鳴門自動車道側道）から望む室津港と播磨灘

淡路島は、「御食国（みけつくに）」と呼ばれ朝廷へ水、農作物、魚介類などを献上していたほど、古来より第1次産業が盛んな地域でした。室津漁港は、西浦北部に位置し淡路島の漁業の1拠点として、底引き網漁と海苔養殖がおこなわれています。

室津地区には、「羅漢の山に朝日生え・・・」と室津小学校の校歌にうたわれ、地域に親しまれている羅漢山という山があります。この羅漢山から望む室津港の景観は、播磨灘の豊かな自然環境のなか、「御食国（みけつくに）」とうたわれるほど栄えた漁業と人の営みを感じることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから県道123号線から県道31号線を左折。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図